

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 特定非営利活動法人日本ペルー共生協会

1 事業の趣旨・目的

コミュニティーの現場で、日本の学校教育に関する考え方やシステムを説明するためには、学校用語（＝学校で使用する日本語）の背景や意味を十分理解しておく必要がある。スペイン語圏の人達はそのスキルを身につけ支援活動ができるようにする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月17日	ハイツ水城	矢沢悦子 小林キミ 高野菜穂子 高橋悦子	23年度講座の概要に関する話し合い。	全体は計画通り。但しバトラー後藤裕子先生のスケジュールが決まり次第最終決定を行う。
12月28日		矢沢悦子 小林キミ 高野菜穂子 高橋悦子	講師変更について	予定講師が結局スケジュール取れず櫻井千穂先生に変更の計画を再度立て直す
1月27日		矢沢悦子 小林キミ 高野菜穂子 高橋悦子	今後の講座の運営方針の確認	保護者を巻き込み一緒に子どもの教育の現状を把握してもらうことにする。参加要請書準備



【写真】12月28日運営会議

3 養成講座の内容について

- (1) 講座名 AJAPE バイリンガル指導者養成講座
- (2) 開催場所: 大和市大和東2-1-3 ハイヅ水城
- (3) 学習目標: スペイン語圏の児童生徒を教育の場で支援する際のスキルを身につける。
- (4) 使用した教材・リソース: 各講師の準備したレジュメ、コピーの資料
- (5) 受講者の募集方法: 過去に参加した人達へのメール、電話、FAX 等でお知らせ
- (6) 受講者の総数 22 人
(出身・国籍別内訳)
日本国 13人, ペルー国 8人, ボリビア国 1人
- (7) 開催時間数(回数) 49 時間 (7 回)
- (8) 参加対象者の要件: スペイン語圏のバイリンガル教育に興味のある人。
(できればスペイン語がわかるか、日本語 3 級以上の人)

(9) 講座内容

日時	講座名/学習内容	講師	受講者数
1月8日 9:30~11:00 11:00~12:00 13:00~14:30 14:30~16:30	「子どもの日本語教授法」: 教科の中で教える子どもの日本語指導に関する注意点 「バイリンガル教育」: バイリンガル環境にいる子どもの置かれている実情、指導への注意点 同時並行で午前2時間はバイリンガル環境の子どもを教える練習。小学校2, 3, 5年生合計5人を2グループに分け国語と算数を授業	高橋悦子 矢沢悦子 高橋悦子 矢沢悦子	11名
1月15日 9:30~12:00 13:00~16:00 16:00~16:30	「言語的マイノリティの子ども言葉の力をどうとらえどう育てるか?」現状報告と指導の注意点 「教科の中の日本語指導」: 具体的な指導方法のアドバイス 同時並行で午前2時間はバイリンガル環境の子どもを教える練習。小学校2, 3, 5年生合計5人を2グループに分け国語と算数を授業	櫻井千穂 櫻井千穂 矢沢悦子	14名

<p>1月22日 9:30~12:00 13:00~16:00 16:00~16:30</p>	<p>「言語的マイノリティの子どもの言葉の力をどうとらえどう育てるか？」子どもの読みのビデオを見ながら注意点とそれをふまえて指導の注意 「教科の中の日本語指導」: 国語、算数を使用した指導方法のアドバイス 同時並行で午前2時間はバイリンガル環境の子どもを教える練習。小学校2, 3, 5年生合計5人を2グループに分け国語と算数を授業</p>	<p>櫻井千穂 櫻井千穂 矢沢悦子</p>	<p>13名</p>
<p>1月29日 9:30~12:00 13:00~16:30</p>	<p>「子どもの言語評価」スペイン語、日本語の言語の評価を実践を交えながら説明 「心を支える指導」スペイン語圏の子ども達の心を支える実践についてをご本人自身南米出身の先生から講義していただく 同時並行で午前2時間はバイリンガル環境の子どもを教える練習。小学校2, 3, 5年生合計5人を2グループに分け国語と算数を授業</p>	<p>櫻井千穂 田中ネリ</p>	<p>14名</p>
<p>2月5日 9:30~12:00 13:00~14:30 14:30~16:30</p>	<p>「バイリンガル教員の学習指導」2言語を使用する子どもの教科を日本語教える時の工夫や注意点 「保護者とのコミュニケーション」保護者に対しての接し方、情報提供の中身、外国の子どもの保護者の抱えている困難な問題を当事者と共に共有する 同時並行で午前2時間はバイリンガル環境の子どもを教える練習。小学校2, 3, 5年生合計5人を2グループに分け国語と算数を授業</p>	<p>矢沢悦子 矢沢悦子 高橋悦子</p>	<p>12名</p>

<p>2月11日 9:30~11:00 11:00~12:15 13:15~15:00 15:00~16:30</p>	<p>「教科の中の日本語指導」:学校の中での日本語指導 「バイリンガル教員の学習指導」:学校の中でバイリンガル教員ができること 「日本の学校での指導について」:公立小学校の国際学級担当教員ができる指導の工夫 同時並行で午前2時間はバイリンガル環境の子どもを教える練習。小学校2, 3, 5年生合計5人を2グループに分け国語と算数を授業</p>	<p>矢沢悦子 高橋悦子 内藤順子 内藤順子</p>	<p>11名</p>
<p>2月19日 9:30~12:00 13:00~14:00 14:00~16:30</p>	<p>「2言語での読書カード作りのヒント」:読みが大切であるというアドバイスを受けたAJAPE独自の読書カードの使い方 「多言語の学校環境での読み書きの力の発達のための教育的枠組み」:読みの力の測り方を実際のビデオ映像を見ながら評価方法のアドバイスを受ける 同時並行で午前2時間はバイリンガル環境の子どもを教える練習。小学校2, 3, 5年生合計5人を2グループに分け国語と算数を授業</p>	<p>矢沢悦子 櫻井千穂 櫻井千穂</p>	<p>15名</p>

(10) 講座の評価

①受講生に対するアンケート

資料1

NPO 法人日本ペルー共生協会 (AJAPE) 主催のバイリンガル指導者養成講座 (全7回)、本日 2 月 19 日を持ちまして無事終了いたします。つきましては、終了アンケートへのご記入をお願いいたします。

* スペイン語の回答は A J A P E で日本語に翻訳

1. 講演

日付	タイトル	講師	コメント Comentario
1/15,22	子どものことばの力をどう捉えどう育てるか	櫻井千穂 Chiho Sakurai	<ul style="list-style-type: none"> ・バイリンガル教育は価値があるのでしょうか？バイリンガル教育を勧めるためにもこの答えをもっと世間に広めさせるためにも支えていかなければならないと思う。 ・年齢に応じた教育ではなく、自分の成長に重点を置きその上に家庭の環境の大切さ、自国の文化の理解の大切さを親子で理解し、それを踏まえた日本語の指導が大切であると感じた。 ・D R A (Developmental Reading Assessment) は文献では知っていましたが評価方法も含め実際の場面を知ることができ大変参考になりました。 ・本の読み方、再話等の話為になりました。 ・R君と櫻井先生のやり取りを聞いて思っていたより物語の内容を理解していら筋が言えていたのでびっくりしました。 ・読み聞かせ、読書の大切さがよくわかった。本を読むことで、語彙も増え、書き言葉にも自然にふれ、生活言語と学習言語とのギャップがうまるのだろう。でも、文字に抵抗がある子にとって本を好きにさせることの道のりは長く、継続的なサポートが必要だと思われる。
1/29	心を支える指導	田中ネリダ Nelida Tanaka	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床の立場から見る外国人子弟の状況を知ることは初めてだったので、とても良い経験になった。 ・カウンセラーの支援は必要なのか？⇒講師によると子ども達は問題はさほどないようだとのことでしたが社会はそのようには捉えていないそうです。 ・家庭問題と子どものかかわりについて深く考えさせられた。 ・専門家の話が聞いてよかったです。私たち専門知識の乏しい支援者にとって、機能的な障害なのか、そうでないのか、判断がつかないので、専門家と連携していく方法が探っていけるといいなと思いました。

			<ul style="list-style-type: none"> ・子どものカウンセリングの要点の、「聴くこと」「子どものエンパワメント」「子どものレジリエンス自己治癒力を育てる」は指導者でも取り入れられると思った。
2/5	家族の支援について(保護者と共に)	矢沢 Yazawa 高橋 Takahashi	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の方との相互理解(歩み寄り)が大切だと思いました。 ・同じ悩みを持った同士が心を開いて話し合いができる場を設けることができる、その大切さを肌で感じる事ができた。 ・「子どもをよい方向に教育する」と言う保護者の課題に関してどのようにその支援を可能にすることができるのであろうか?その答えはみんなといっしょに昼食を食べながら会話をするという事でした。とても素晴らしいと思いました。 ・一緒に食事をして、一人一人が自己紹介をした際、本音が聞けて良かった。 ・保護者と話し合いを持ったことはとても良かったです。A J A P Eのような教室があり、親は本当に助かっていると思う。ご家族の話聞くことで、生活背景も見えてきて、サポートの方法も探れることを感じました。子どものサポートのために保護者との信頼関係を築くこと、そしてエスニックコミュニティの力を育てることも大切だと思いました ・親子、支援者(指導者)が子どもの教育、子育てについて話し合える機会は少ない。今回、その場が持ててよかった。
2/11	日本の学校での指導について	内藤 順子 JyunkoNaito	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現状そのものを鋭く指摘する人の話を聞くことができたのでよかった。 ・日本の学校で何を学んでいるかということ私達外国人の保護者はどれほど知っているのでしょうか? ・指導方法が具体的で大変勉強になりました。 ・これだけは教えるべき単元などを細かく先生が言って下さった事を子ども達の指導にこれから生かしていこうと思います。 ・教師側(学校教育)の視点がよくなりました。川崎が教科指導に入らないようにという理由も納得できました。まねごとで教科指導することの危うさを感じました。ゴールが学年相当の力だとすると、それに向けて支援者ができる指導を考えていなくちゃいけないと思いました。 ・算数、国語の具体的な教え方の紹介があったのがよかった。また子ども達の支援への先生の情熱、素晴らしいと思った。

2/19	振り返り	櫻井千穂 Chiho Sakurai	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の判定を実際に体験でき、勉強になった。対象児の算数を午前中に見ていたので子どもの様子もよくわかりました。 ・読み書きの達成がことばの力をつけることにとても重要だと学んだ。日本にいるからこそ、母語の読みがとても大切であることを子ども達の保護者に知らせていきたい。 ・児童の実践を見て評価することにより、次に何が必要か知ることができた。評価する時のポイントも理解しておくことが重要だと思った。 ・読書の楽しみはバイリンガル（異文化）の子ども達だけでなく、すべての子ども達に必要であることを感じた。 ・R君のビデオを見ながら皆で彼の読み取りについて観察したがよく組み立てられた方法であると思った。 ・とにかく読書は大事ですね。確かに本が好きな子は口が達者でいろいろな言葉を知っている。
全体	今回全体の講座	矢沢 Yazawa 高橋 Takahashi	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に打ち合わせの時間が設けてあったのがよかった。 ・充実した講座だったと感じました。ありがとうございました。 ・どれも、役に立つ情報が豊富な講義だと思いました。外国人の子ども達のために親身に尽くしていることは今後他のNPOにも活動を紹介していくべきです。 ・毎回為になるお話をしてくださりありがとうございます。もっと長い間受講したいなと思いました。 ・中身の濃い内容の講座で、学ぶことが多かったです。ありがとうございました。

2. 授業&振り返り

教科	コメント
算数 Matemáticas	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな立場、いろいろな経験のある方が、同じ授業を見一緒の場面で話し合えたのがよかったと思っています。 ・様々な先生方の教え方を見ることができて良かった。教師のための講座なので教師が学習項目を決めることができるのは一つのアイデアだと思うが学習者にとってはどうなのだろうか？あらかじめ学習者の弱点などがわかっている外部からの先生もやりやすいです。学習者がよく理解している項目の授業はスムーズに行くことが多いですが難しい授業の方が「そこをどううまく説明するか」という新しい発見を様々な先生から学べると思いました。 ・算数文章題の意味を理解できるように絵に描かせてから取り組ませる方法は効果的だと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・算数：考える時間を与え授業者との会話の中に日本語学習が組みこまれよく工夫されている。繰り返し考えさせることにより自ら誤りを見つけ理解していた。 ・時々代行で算数を教えますが、皆様の授業が大変参考になった。 ・算数：外国人のお子さんにとって文章題の回答には日本語の理解がまず前提としてあるので、これは何を求める問題なのか、説明してから回答させることが必要と思った。 ・一人の先生が一つのテーマに4時間をかけ掘り下げた授業は多いに役に立ちました。 ・今回算数の授業をやらせていただき準備してきたもの語実際に指導をする時、同じようにはいかないということを改めて実感した。J先生も私もこれからたくさん勉強していかなければと思っています。 ・いろいろな方の指導をみることでよかったです。これからも連携して、こどものことを一緒に考えていけるといいなと思いました。
<p>国語 Lenguaje</p> <p>授業後の振り返り Reflexión de la clase</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章が多い国語の内容を理解させるには、教材、教具の準備の仕方、教える手順をしっかりと把握しているかどうかで生徒の理解力に非常に関わってくると改めて感じた。 ・国語：教材の準備がよいので流れがスムーズでよかった。学習者の生活経験と学習内容があって理解も深まったと思う。 ・国語も算数も言葉で説明するだけでなく補助の小道具が大事でありホワイトボードの書き方も大事であると感じました。 ・一つ一つ丁寧に物語の内容を指導していた。準備も素晴らしく、子ども達の国語嫌いはなくなりそうですね。 ・対話しながら再話の方法を一緒に考えられるといいなと思いました。 ・外国人のお子さんは家庭で日本語の語彙を増やす機会が少ないので、AJAPEで細かく単語を説明する事が日本語の基礎力をつけるために役立つと思います。先生も生徒もコツコツ学習していく姿が、結果を導くと思いました。 ・AJAPEで素晴らしい授業が行われていた。子ども達が楽しそうでした。 ・新しい授業の方法を学習する事が出来た。またAJAPEでの授業の工夫がわかったし、自分の子どもがどのような観点で教育を受けているのかということが理解できた。 ・参加者のみなさんが忌憚ない意見が言える場になっていてよかったと思いました。 <p>授業の評価だけではなく、みんなで次回のプランなど一緒に考える時間があれば、自分がカリキュラムをたてる勉強になるのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施→フィードバックを5回行えたのは良かった。 ・読解力をつけるためには読書量を増やす事が必要である。いろいろな場面を想像し理解することができるような国語力をつける指導が求められる。

3. その他 ☺「今回参加してこんなことが分かった」、☺「次回はこうしてほしい」など

Le agradeceríamos escribir su impresión o comentario sobre el curso

- ・毎回でなくてもよいので小グループでの話し合いの日もあつたら良かった。
- ・国語で音読のみならず黙読を取り入れてわからない部分を明確化していく手法を学べた。
- ・生徒達への指導について、生徒が間違つた答えを言つてもすぐに否定せず、生徒自らが間違いに気づくよう誘導していく方法がいろいろあることも学んだ。
- ・多くの授業を見ることにより、自分の教え方を振り返ることができ、今後の参考になった。一回の研修内容が大変充実しており、学習支援参観と話し合いがありとても良かった。
- ・学習する場が学校ではない点が特に利点になることが分かつた。子どもが学校での生活から離れて自分らしく学習できます。
- ・従来留学生（大人）を対象に日本語学校で職業として働き、日本語の指導だけに重点を置き生徒との精神的な触れ合いはなく、むしろ互いの私生活に介入する事は許されない世界で働いてきました。ここ一年の指導経験、今回の講義や指導は私にとって全くの別世界でした。反面私が社会体育で携わっているサッカー指導（30余年）に通ずることが多く子どもにとって学業以前の精神的フォローや生徒の家庭環境等も知つた上での授業が大変重要であることを切に感じました。私にとって現在指導している授業は人間味のある感動的なことが多く、この講習は上記を確信させられるものでした。この講座に参加できたことに感謝し、今後の子ども達への指導に役立てていきたいと思っています。
- ・AJAPEで毎回授業参観させてくれてありがとうございます。子ども達はレベルの違いは少し見られますがどの子も学んだことを吸収して成長しているようです。先生方のレッスンを拝見して私いつかは同じように教えられたらいいと思いました。
- ・神奈川まで来るのは大変ねとよく言われますが、眠れないくらい毎回楽しみにして来ています。もしできることなら、回数を増やして、子ども達の学校での様子も見られるといいと思います。実際にその学校に行かなくてもビデオなどでもいいのでは、、、そうすれば子ども達がどんな風に生活してどこにつまずいているのか、その原因がはっきりしてくるのかなと思います。AJAPEの様子だけではどうしてもわからない部分があります。本を読む習慣が身につかない子ども達のために本を好きになる環境を作ってあげなければならないのだと感じました。沢山やることがありますね！ありがとうございます。
- ・私にとってコメントをすることは難しいです。理由は教師ではないということ、他の国で教育を受けたということです。出席しようと思った理由は自分の子どもの日本での教育を理解できると思つたことと仕事で生かせると思つたからです。仕事はスペイン語の通信教育関係ですが、ここで学んだことが役に立って保護者にアドバイスができています。
- ・お子さんを持つ外国の方に、母語の大切さを伝えたいと思います。母語での絵本や本の読み聞かせの大切さを知りました。活動の中で、これまで続けてきたバイリンガルでの読み聞かせにも意味を見いだすこともでき、細々ですが続けていこうと思つました。
- ・算数の指導ですが、どこでつまずいているのか、チェックしてから指導をすすめていくのではないのでしょうか？それぞれの単元のつながりもあるので、算数は積み上げていくことが大切なような気がします。

②実施主体からの研修内容結果評価

まず講座の授業と児童を教える授業を同時並行で行ったので準備、参加者の調整、会場の設営に非常に苦労した。また保護者には参加同意書を準備してサインを取った。ただ受け身で講義を聴くだけではなく自分も実際に授業を行い検証を行うことができたのは非常に効果的であった。人の授業を見る、自分で授業を行う方法を取ったが、双方共に収穫が大きかった。一部はビデオに撮り振り返りや反省のために利用した。言語評価の際も子どもの受け答えの様子をビデオに撮り全員で評価の基準合わせのディスカッションが行えたのはとても良かった。また他の収穫として講座終了後もペルー人の父親から自発的な読解の授業を継続してみたいとの申し出があり3月11日から再度日本語の読解の授業のコースを行っている。子どもたちも喜んで参加しているので何らかの成果が出せることを期待している。当講座は常にネイティブの方の参加があり、時にはディスカッションはスペイン語で熱を帯びることもある。日本人がマイノリティになり必死に参加することもあり本当の意味での多文化共生の講座が開設されているのだという自信を持っている。またスペイン語の通信教育を束ねている人の参加があることから、この講座により得られた知識を副次的にコミュニティに伝え、非常に良い影響を及ぼしていることもうかがわれる。

③実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

ネイティブの人からもとても好評なので是来年度も行ってほしいという意見が寄せられている。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携: スペイン語通信教育のキーパーソンとのつながりができている。この人は、コミュニティからの問い合わせに学んだ知識を利用して答えている。スペイン語の通信教育だけでは子どもによくないということがこの講座に参加して理解できたので日本の学校に行くように常に勧めているとのコメントをもらっている。

② 研修後の人材活用

ペルー人保護者の自発的な申し出で日曜日本語読解教室が始まった。

(12) 今後の課題

継続して外国にルーツを持つ子どもの日本語を指導するには、子どもの言語発達のプロセスの理解ができ、その子どもたちの為に言語や教科の指導を専門に行う人のアドバイスがとても重要である。バイリンガルの人が日本語の読解を指導できるようになるためには言語学習理論や指導方法を学習する必要性がある。